

# 防犯カメラが見守る「地域の安全」

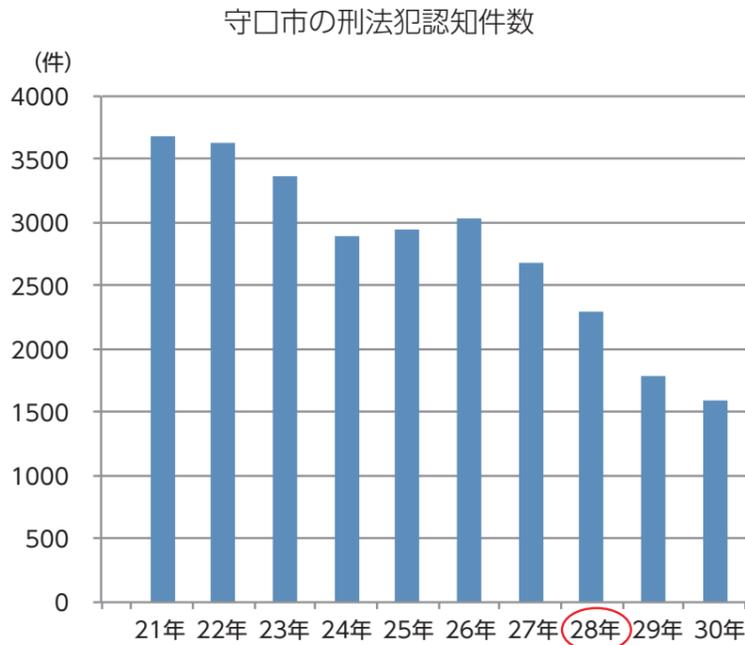
## 10年間で犯罪が半以下に

市では、平成28年10月から、市民の犯罪被害を未然に防止し、犯罪が発生した後は捜査機関が迅速な対応ができるよう、市内全域に防犯カメラを1,000台設置しています。これは、約110mに1台の防犯カメラが備えつけられていることとなります。

これにより、市内の治安は格段に改善しました。警察による犯罪防止・捜査の取り組みや、防犯委員会や青色防犯パトロール隊をはじめとする地域の皆さんの積極的な見回り活動と相まっての誇れる成果です。

具体的には、刑法犯認知件数が、防犯カメラ設置前である平成27年の2,680件に比べ、設置した28年には2,296件、29年には1,797件、30年には1,602件と減少となり、その傾向は今も続いており、平成21年から平成30年までの10年間で市内の犯罪は半分以上減っています。

なお、防犯カメラの映像は、犯罪などの捜査が必要な場合に限り、警察のみが閲覧できる仕組みで、プライバシー保護には留意しています。



平成28年10月に1000台のカメラを設置  
大阪府警察ホームページのデータを元に作成

## こんなに役立つ！防犯カメラ (検挙に至った事例を紹介)

### 【検挙事例その① ひき逃げ事件(令和元年10月)】

自転車を運転中、自転車と衝突し負傷させたにもかかわらず、救護措置をとらずに逃走したひき逃げ事件  
→発生現場付近の防犯カメラ画像から犯人が逃走する状況や、犯人特定につながる情報を得て、犯人を検挙することができました。



### 【検挙事例その② 特殊詐欺事件(令和元年7月)】

金融機関職員になりすまして高齢者宅に電話をかけ、「キャッシュカードが変わるので、古いキャッシュカードを自宅まで取りに行く」と嘘をついて訪問し、キャッシュカードをだまし取るという特殊詐欺事件  
→発生現場付近の防犯カメラ画像から、被害者宅にキャッシュカードを受け取りに行く犯人を確認し、その画像を元に手配したところ、警戒中のパトカーが犯人を発見し、検挙することができました。

### 【検挙事例その③ 強盗致傷事件(令和元年5月)】

徒歩で通行中の女性が所持していたバッグを窃取して逃走したが、追跡してきた男性に取り押さえられそうになったため、逮捕を免れようと男性の顔を殴るなどの暴行を加えて負傷させるという強盗致傷事件  
→防犯カメラ画像から犯人の犯行前後の状況を確認して、犯人特定につながる情報を得て、犯人を逮捕することができました。

## 特殊詐欺対策機器を無償貸与しています

高齢者を対象に多発している特殊詐欺被害の防止を図るため、市内に在住する65歳以上の人を対象に、府内最大規模となる650台の通話自動録音機を無償で貸与する事業を実施しています。この機器は、自宅の固定電話機に設置することで、着信時に「会話内容が自動録音されます」と警告アナウンスが発せられ、振り込め詐欺などの電話を抑止できるもので、簡単な作業で取り付けることができます。



実際に機器の貸与を受けて使っているという人に話を聞いてみました。

「以前、特殊詐欺と思われる怪しい電話が何度もかかってきていたので、市の無償貸与事業があると知ってすぐに申し込みました。機器を取り付けた後、怪しい電話はぱったりとやみました。やはり、電話がかかった瞬間に『録音されます』とアナウンスされるのは何よりの抑止になるようです。」

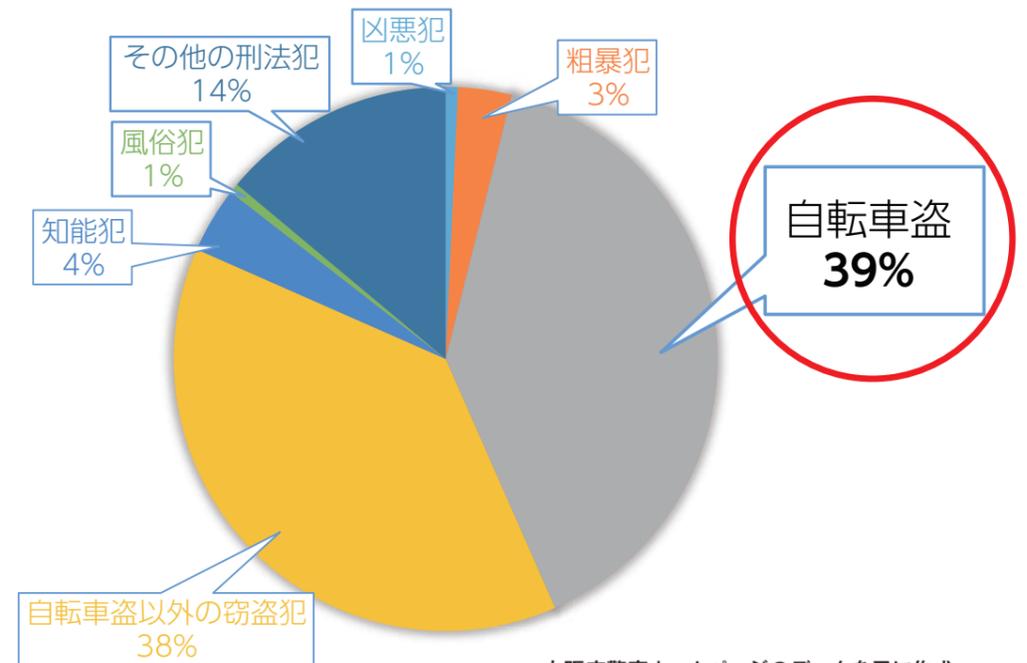
## 《特殊詐欺対策機器イメージ》

- 警告アナウンスによる抑止効果
- 警告後通話内容を自動録音

## 守口市の重点取組犯罪 ②自転車盗

地域での犯罪は随分減少しましたが、市内で発生している刑法犯罪のうち、現在はその約39%が自転車盗です。自転車盗は強盗などの凶悪犯罪に比べれば軽微な犯罪かもしれませんが、しかしながら、小さな犯罪を見逃さないことこそが、大きな犯罪を防ぐことにつながります。自転車盗減少に向け、自転車利用者にも施錠の徹底を呼びかけるなど、取り組みを強化します。

守口市における刑法犯認知件数の内訳 (平成31年1月1日~令和元年12月31日)



大阪府警察ホームページのデータを元に作成